

学校給食費無償化事業について（報告事項）

八戸市では、青森県の「学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金」を活用し、児童生徒に係る学校給食費の保護者負担分を負担する学校給食費無償化事業を実施する。

1. 事業開始 令和 6 年 10 月 1 日提供分から
2. 事業対象 就学援助対象児童生徒を除く児童生徒
 (小学校 約8,500人 中学校 約4,300人 計 約12,800人が対象)
 ※就学援助児童生徒はこれまでどおり就学援助制度にて無償。
3. 事業費 約 3 億 5,000 万円
4. 主なスケジュールについて
 - 7 月 18 日 学校給食審議会へ報告事項 提出
 - 7 月下旬 学校及び保護者へ無償化実施のお知らせ 送付
 - 7 月～8 月 学校給食条例施行規則の一部改正（予定）
 - 10 月 1 日 学校給食費無償化事業 開始

(仮称) 八戸市いじめ防止条例の策定に係る

パブリックコメントの実施について

1. 条例策定の目的

いじめ防止対策推進法第 12 条の規定及び国のいじめの防止等のための基本的な方針に基づき、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処）のための対策を総合的かつ効果的に推進するために、平成 28 年 4 月に「八戸市いじめ防止基本方針」を策定し、その後、平成 29 年 3 月の文部科学省「いじめの防止等のための基本的な方針」改定、平成 29 年 10 月の「青森県いじめ防止基本方針」改定を受け、令和元年 6 月に「八戸市いじめ防止基本方針」を改定している。

令和 5 年 6 月議会定例会において、上条議員より「いじめ防止条例の制定について」発言があり、また、近年、他自治体において様々ないじめ防止に関する条例が制定されていることを踏まえ、子どもが安心して学校生活を送り、学ぶことができる環境を実現するため、「(仮称) 八戸市いじめ防止条例」を策定することとし、市、教育委員会、学校、保護者、関係機関・団体、市民がそれぞれの立場から相互に連携し合い、社会全体で子どもを見守ることができるよう、いじめ防止のための体制・対策の更なる強化を図るものである。

2. パブリックコメント実施スケジュール

時 期	内 容
令和 5 年 12 月～令和 6 年 4 月	素案・たたき台作成・情報収集
令和 6 年 5 月～8 月	条例案総務課（法規 G）審査
令和 6 年 6 月	二役・市議会正副議長等へパブリックコメント概要説明
	教育委員会定例会にてパブリックコメント概要説明
令和 6 年 7 月	総務協議会にてパブリックコメント概要説明
令和 6 年 8 月	パブリックコメント実施
令和 6 年 10 月	教育委員会定例会への議案提出
令和 6 年 12 月	市議会定例会への議案提出・制定

令和6年度 マイブック推進事業について

【趣旨】

小学生が書店に足を運び、自ら本を選び購入する体験を通して、読書に親しむ態度を養う。

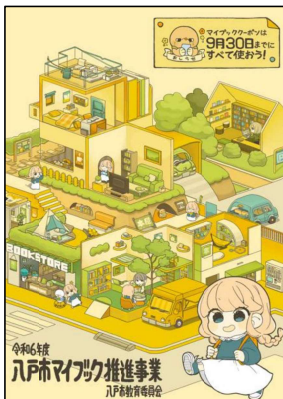
【クーポン使用期間】

令和6年7月1日(月)～9月30日(月)

ポスターについて

次のA・Bは、いずれも学校及び書店へ配布

【ポスター-A】



ポスターのコンセプト

「校内に数多く掲示されているポスターの中にあって、ひととき目を引き、児童が思わず足を止め、何度でも見たくなるような、遊び心満載のポスター」

ポスター製作者:古戸 杏実 氏

【ポスター-B】



ポスターのストーリー (製作者より)

「本のページをめくると意識が深い海へと沈んでいきます。感じたことのない浮遊感と弦楽器のような甲高くも美しい音に目を開けると、大きな影が自分を覆っていました。あの本で見た大きなクジラが、目の前に泳いでいます。」

ポスター製作者:工藤 未優夏 氏(子育て支援課)

おすすめブックリストについて



令和6年度「南部藩ゆかりの都市との交流事業」について

1. 事業の目的

南部藩ゆかりの都市との交流事業は、歴史的なつながりを有する岩手県遠野市との交流事業であり、両市児童による相互交流を通じ、南部藩の歴史や両市の関わりを学び、ふるさとを愛する心を育むことで、児童の健全育成を図ることを目的とする。

2. 事業内容

(1)派遣事業

ア 事前研修

事業の目的、趣旨及び内容等について理解を深め、団員の心構え、団体活動の基本を習得する。

イ 訪問研修

訪問都市の児童との交流を通じ、歴史的遺産の価値や共通点を正しく理解する。

ウ 事後研修

交流事業体験のまとめ及び発表を行う。

(2)受入事業

ア 受入研修

施設見学、グループ交流、体験活動を通じた学習を行う。

3. 交流都市

岩手県遠野市

4. 日程

(1)八戸市少年使節団派遣事業 7月29日(月)～7月30日(火)

1日目(7月29日) ・歓迎式(遠野市長出席)、遠野ふるさと村体験学習

2日目(7月30日) ・博物館、伝承園等遠野市内施設見学

(2)遠野市少年使節団受入事業 8月3日(土)～8月4日(日)

1日目(8月3日) ・歓迎式(八戸市長出席)、博物館・史跡根城の広場見学、
三社大祭参加 ※遠野市児童のみ

2日目(8月4日) ・是川縄文館、蕪島等見学
・種差少年自然の家体験交流(いかだ作り等)
※八戸市児童も参加

5. 参加児童及び引率者

(1)派遣事業

ア 八戸市小学校6年生 40名

イ 引率者 7名

(2)受入事業

ア 遠野市小学校6年生 26名

イ 引率者 6名

令和6年度是川縄文館夏季特別展
「縄文の編み／組みの探究 -第4期共同研究展示-」

是川石器時代遺跡のうち、縄文時代晩期の中居遺跡からは、編みかごなどの編組製品がたくさんみつかっています。

植物考古学者の佐々木由香氏と是川縄文館とは、編組技法からみた縄文時代の技術知の解明をテーマに、中居遺跡出土の編みかごなどの分析を進めてきました。

本展覧会では、3年間にわたる共同研究から明らかになった、かごの素材や製作技法を紹介するとともに、縄文人の植物利用や資源管理に迫ります。

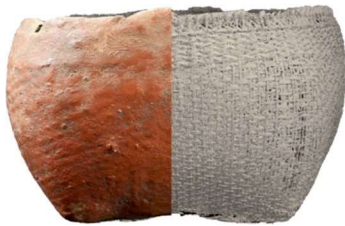
1. 会期

令和6年7月13日（土）～9月8日（日）＊会期中の休館日 8月19日（月）

2. 協力機関

文化庁、（公財）杉並区教育委員会、東村山市教育委員会、川口市教育委員会、南相馬市教育委員会

主な展示品



◀赤色漆が塗られた編みかごと X線 CT 解析データ
中居（なかい）
遺跡出土
縄文時代晩期
是川縄文館蔵



◀3000年前のクルミかご
鷺内（さぎうち）
遺跡出土
縄文時代晩期
南相馬市教育委員会蔵



◀復元されたかご
元資料：
下宅部（しもやけべ）
遺跡出土
縄文時代後期
東村山ふるさと歴史館蔵

併催事業

① 特別展考古学講座 ＊要申込

演題：「縄文時代を編む」

講師：佐々木 由香 氏

（金沢大学 特任准教授）

日時：令和6年8月31日（土）

午後2時～4時

会場：是川縄文館1階 体験交流室

＊定員100名

② 特別展ギャラリートーク

会期中毎週土曜日 午後2時～

※8月31日は午前10時～

③ マイかご割引

植物質のかご持参で団体料金適用

後援

（株）東奥日報社、（株）デーリー東北新聞社、青森放送（株）、（株）青森テレビ、（株）八戸テレビ放送、青森朝日放送（株）、コミュニティラジオ局 BeFM

休館日／8月19日（月）

観覧料／一般300円（団体料金有）

※8月18日（日）は観覧料無料